

## I 残部9枚 映画「破戒」の特別鑑賞券(¥1100)

映画「破戒」の特別鑑賞券が、残部9枚になりました。(当日券は¥1900)

Tジョイ博多(福岡市博多区博多駅中央街1-1JR博多シティ9階)、Tジョイ久留米(久留米市新合川2-7-10)7月8日(金)から上映されています。上映は1日1回です。(現在の上映時間は、11:50~13:50)。変更もあり得ますから、上映時間は各会場のHP等において確認をお願いします。特別鑑賞券で時間座席の指定ができます。福岡県人権研究所事務局で購入ください。

<映画「破戒」を観て 原田博治(所長)>

全国水平社創立100周年を記念して製作された映画「破戒」を観ました。原作は島崎藤村の同名小説で、今回で3度目の映画化でした。かつて池部良、市川雷蔵といった名優が力演した主人公を若手の間宮祥太郎が演じました。部落問題という重いテーマの物語を若い人たちにも観てもらいたいという製作スタッフの意気込みが伝わってきました。

映画の舞台は、全国水平社が発足する前の明治後期の長野県。「素性を隠し通せ」と言った父の戒めを破って生きようとする主人公にたくましさを感じましたが、被差別部落出身を告白することの厳しさは1世紀以上経過した今も完全に解決されていません。部落差別の根深さを改めて感じました。

## II 部落史研究部会 史・資料プロジェクト合同研究会

標記の研究会は、毎月第2土曜日14時から古賀市鹿部集会所で開催しています。7月9日に第3回研究会を行いました。今回は、松本・井元研究会事務局長の塚本博和さんが「松本治一郎に宛てた手紙を紐解くー松本治一郎と吉竹浩太郎との関係ー」と題して報告しました。また、資料の「全九州水平社関連相関図」について、講師の竹森健二郎さんから補足がありました。次回は、9月10日(土)を予定しています。変更もありますから、ホームページをご覧ください。

## III 部落問題部会開催のお知らせ

第2回部会が、7月15日(金)18:30から「福岡市立千代人権のまちづくり館」で行います。また、8月8日(月)10:00~16:00「福岡県ボランティアセンター(福岡県吉塚合同庁舎5階)」で一日研修会を開催予定しています。たくさんのご参加お待ちしております。8月8日(月)の一日研修会の詳細は、決まり次第ホームページなどで紹介します。問合せは、事務局まで。

\*訂正~前回ニュース No4 会員箕田哲久の投稿記事の「一新団」は「(正)一新組」でした。

ニュース担当: 峰 <会員登録がまだお済みでない方はHPからお願いします>

812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 ホームページ <http://www.f-jinken.com/>

tel 092-645-0388 fax 092-645-0387 email [info@f-jinken.com](mailto:info@f-jinken.com) (登録解除はこちらへ)

[人権研究所の本]

新谷恭明『校則なんて大嫌い!ー学校文化史のおきみやげー』

久米祐子『子どもから障害児を「分けない教育」の戦後史インクルーシブ教育とはー』

木村政伸『教室の灯は希望の灯 自主夜間中学「福岡・よみかき教室」の二五年』

関 儀久『感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験』

☆お求めは⇒<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>